

みんなで広げようシトラスリボンプロジェクト

当たり前だと思っていた普段の暮らしを揺さぶっている COVID-19（新型コロナウイルス感染症）
たとえウイルスに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会に



シトラスリボンプロジェクトとは、新型コロナウイルスに感染した方やそのご家族、医療従事者の皆さんへの差別や偏見をなくし、誰もが暮らしやすい地域を目指そうという愛媛県の有志から全国に広がっているプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めようという取り組みです。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査をうけることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながると表明しています。コロナ禍であっても、みんなが笑顔で暮らせる環境を目指し、シトラスリボンプロジェクトで思いやりの輪を広げて行きましょう。



みんなで広げようシトラスリボンプロジェクト from ehime

<https://citrus-ribbon.com>

～ 賛同していただける方へ ～ ◆ SUPPORTERS ◆

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど）がそれぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、そんな想いを共有していただける方にご紹介する方法で、あなたの住むまちにエールを送っていただけたらうれしいです。



1 シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。



2 その素材で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」をつくれれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に。



3 この「シトラスリボン」を身につけたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか？」「また会いましょう！」のこぼれとともに贈りあうのもよいかもしれません。



4 リボンの画像を SNS で発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#ただいま #おかえり
#っていいあえるまちな
#citrusribbonfromehime



「ユニバーサルマスキング」の巻

～ユニバーサルマスキングという世界基準～

WHO（世界保健機構）は、街中でのマスク着用は感染予防の効果がなく、そのようなマスクの使用によりマスクが消耗され、それを必要としている医療機関が入手できなくなることを指摘していたが、今では感染が広がっている地域の公共の場でのマスク着用を推奨しています。すべての人々が感染源にならないように、常時マスクを着用する感染予防策を「ユニバーサルマスキング」と呼び、今や世界基準になりつつあります。



お口と体の雑学クイズ

- (1) 秋刀魚に含まれる DHA という栄養素は、ある病気の改善効果があるといわれています。どんな病気？
a. 骨粗鬆症 b. アルツハイマー病 c. うつ病
- (2) 体に良いといわれる癖はどれ？
a. 貧乏ゆすり b. 爪かみ c. 枝毛むしり
- (3) X線検査で使われる「バリウム」が使われているのは？
a. ファンデーション b. 外壁 c. 花火

※答え(1)b(2)a(3)c